

生肉食への移行

さて、貴方は愛猫に生物学的に適切な生肉食を与えることに決めました。ここで、「食べてくれるかな？」という疑問が生じるのではないのでしょうか？多くの猫は、「ついに、本当の食べ物だ！」と言わんばかりに、すぐに生肉食を食べてくれます。まずは完全な生肉食を、冷蔵庫で解凍した後ほんの少し温めてあげて、様子を見てみましょう。もし猫がそれを食べてくれれば、移行期間を設けず、すぐに生肉食に切り替えても大丈夫です！

もし食べてくれなかったとしても、がっかりしないでください。長期に渡るドライフード中毒の猫でも、よりよい食生活に移行していくことは可能です。ただ必要なのは、我慢と忍耐です。決して努力は無駄にはなりませんので、とにかく諦めなければ、貴方の猫は健康的な食事が大好きになるはずです。

ドライフード中毒の猫には…

まず最初の一步は、ドライフードの置きっぱなしを止めることです。規則正しい食事時間を設定しましょう。柔らかい歯触りに慣れてもらうため、ドライフードと同時に高蛋白缶フードを与えてみましょう。ご飯を三十分出したら、すぐに片付けましょう。猫は食事の時間が八時間から十二時間開いても平気です。これが自然界では普通なのです。食事の時間になって少しお腹が空いている方が、新しい食事に挑戦するにはもってこいです。食事中には猫を撫でつつ、手から食べさせてみましょう。「誘惑」トッピングを缶フードに少し乗せて、食べる気を起こさせて見ましょう。時間はかかっても、毎食缶フードを与えましょう。少しずつドライフードを減らしていけば、最終的には缶フードを食べてくれるようになります。



最初の第一歩はドライフードの出しっぱなしを止めること。

既に缶フードを食べている猫には…

生肉食への切り替えは、即ち新しい食べ物への慣れです。生肉食には匂いがあまり無いので、猫は即座には食べ物だと気付かないかもしれません。缶フードの隣に生肉食を置いて、まずそれをご飯の匂いとして覚えさせることから始めてみましょう。ごく少量の生肉食を缶フードに混ぜてみて、後は数週間掛けて少しずつ生肉食の割合を増やしていくことも可能です。「誘惑」トッピングは生肉食にも効果的です！中には小さな塊肉に惹かれる猫もいます。新鮮な鶏胸肉、鶏レバー、七面鳥、豚肉、牛肉、ウサギ肉などは、全て猫が好む肉です。ポリ袋に小さな生の固まり肉とパルメザンチーズを入れ、シェイクしてチーズをまぶして与えるのも効果的です！



詳細及びコツは、[“How to Transition Your Cat to a Raw Diet”](#) をご覧ください！

重要なコツ

猫が毎日ちゃんと食べていることを確認しましょう。少しの空腹は新しい食べ物を食べる動機付けにはなりますが、24時間以上全く食べないまま放置するようなことはしないでください。生肉食の解凍は必ず冷蔵庫で行いましょう。生肉食を温めるときは、ジップロックに入れて、ボウルに入れた温水の中で温めましょう。電子レンジは使わないでください。猫には、静かでストレスのない食事場所を与えましょう。猫が糖尿病であれば、食事の移行の前に獣医さんに相談しましょう。食事の変化により、糖尿病猫が必要とするインスリンの量が劇的且つ即座に変化することがあります。

詳細

詳しくは、[Feline Nutrition](#) をご覧ください。生肉食が初めての方にも、ずっと生肉食を実行してこられた方にも、科学的根拠に基づいた情報が満載です。[Facebook](#)ではFeline Nutritionとして登録しておりますので、皆様の投稿も大歓迎です。

猫は自然に生肉食が好きになります。



誘惑トッピング

- 粉チーズ
- ビール酵母
- かつお節
- 乾燥肉のおやつ
- 魚缶の汁
- 加熱した肉のみじん切り
- キャットニップまたはマタタビ
- 砕いたドライフード



The Feline Nutrition Foundation is a registered 501(c)3 non-profit.